



# 勿来高だより

令和5年度 第2号

知性と自律  
Intelligence & Autonomy

令和5年 8月22日  
文責：校長 櫻田 渉

## ◆ 第2学期が始まります ◆

長い夏休みがもうすぐ終了し、8月28日（月）から第2学期が始まります。2学期には大きなイベントが多数予定されており、子どもたちも忙しい日々を送ることになりそうです。遅くなりましたが、第1学期後半の学校生活の一部について以下にご紹介します。

## ◆ 高齢者疑似体験 ◆

新型コロナにより運動量が減るなどの原因から、子どもロコモの症例が増えてきたというニュースを見ました。ロコモとは、ロコモティブシンドロームの略。元々は、加齢による筋力低下や病気による運動器機能低下などにより、立ったり、歩いたりといった移動機能が低下した状態を指すそうです。

階段をうまく昇れなかったり、平坦な場所でつまずいたり物にぶつかったり、そのような子どもが増えているということです。子どもの場合、機能回復が可能な年代だとは思いますが、体育の大切さを改めて感じさせるニュースでした。

いずれ訪れる加齢による影響を体験するため、1年家庭総合では、高齢者疑似体験を実施しました。

福島県保健福祉部の「福祉の将来を担う人材育成事業」を活用し、福島県介護福祉士会から講師を招いてのイベントでした。体験で使用する機材等はいわき市社会福祉協議会から借りました。

体の動きを制限するパーツをつけ終えると、生徒達の体は運動機能と視力が低下した状態に近くなり、高齢者の疑似体験が出来るというわけです。この状態で、色を識別したり、箸で豆をつまんだり、ハサミで切り抜く作業をしたり、歩行したりしました。

今回の体験では、他者視点に立って考えるという訓練が出来たはず。単なる体験に終わらせず日頃の生活に生かすことで、学びが一層深まりますね。



色を識別する体験



箸で小豆を皿から皿に移動



杖を使用して階段の昇降

## ◆ 未来の福島県知事選挙 ◆

平成28年6月に選挙権年齢が18歳まで引き下げられて以降、生徒が知らず知らずに法律に抵触することのないように主権者教育は必須です。

さて、7月14日（金）、2年生を対象に「未来の福島県知事選挙」を実施しました。福島県の主催で、いわき市選挙管理委員会のご協力もいただきました。主権者教育全体計画に位置づけた目玉となるイベントの一つで、政治・選挙に関する知識・関心の向上や政治的・社会的な諸問題を自ら考え判断する能力を養うのが目的です。いわき支援学校くぼた校2年生との合同開催です。いわき市選挙管理委員から模擬選挙の趣旨説明を受け、政見放送を視聴した後、投票・開票を行いました。

福島県の課題を選挙争点とした政見放送で判断力を養い、投票の流れも体験を通して掴むことができましたね。君たち2年生も高校生うちに投票をする機会がやってくるかもしれません。今日の学びを忘れずに、民主主義を支えているという自覚を持って、選挙を通して国や自治体に関わっていきましょう。



### ◆ インターンシップ ◆

様々な進路学習の中でもインターンシップは実際の職場を肌身で感じられるたいへん貴重な機会です。本校3年生は5月に3日間のインターンシップを体験しました。ご協力いただいた地元の企業様に心より感謝申し上げます。そして、6/2(金)、インターンシップに参加した3年生が報告会を実施しました。1・2年生に体験の成果を披露する場面です。以下に報告の一部をご紹介します。

- ◆会社が求める人材を質問したところ、「社交性がある人、健康な人、協力できる人」でした。
- ◆インターンシップを通して、施設介護と病院介護の違いを体験できました。介護職を目指す人は、施設だけでなく病院での介護士も視野に入れて、インターンシップを行うと良いと思います。
- ◆決められた手順を守らなければ欠陥品を出してしまうので、一人一人の責任が重大だと感じました。
- ◆僕は心配性のところが短所だと思っていましたが、今回体験した製品の検査作業のように、集中力が必要で細かい作業には向いているのではないかと思います。
- ◆職業人として必要なことは、ルール・マナーを守れること、あいさつできること、言われたことをきちんと行うこと、分からないことはすぐ聞くこと、であることを教えてもらいました。
- ◆体験した仕事は、想像していたよりも作業がたいへんで、1日続けていると集中力が切れるのが早いことがよく分かりました。
- ◆同じ職種でも職場が変われば雰囲気違います。これまで5社の体験をしましたが、5社ともすべて違いました。向き不向きを確かめるために、積極的にインターンシップに参加しましょう。
- ◆企業の現場を知ることができたこと、自分にその仕事が合っているかなど重要なことを理解できて、会社を選ぶ際の選択の幅がひろがりました。
- ◆工場のおいや音は自分が行って確かめないと分かりません。少しでも不安なことがある人は、インターンシップに参加すると良いと思います。



### ◆ ものづくり企業ガイダンス ◆

9月16日は高卒就職試験の全国解禁日です。進路活動の一環として、3年生に対して『高校生のためのものづくり企業ガイダンス』（福島県商工労働部主催）が実施されました。地元製造業への就職について具体的に考える機会として、たいへん有意義なイベントになりました。

まずは、導入としてキャリアカウンセラー様により、働き方のスタイルや賃金、離職率など、就職活動に臨む心構えを研修しました。特に離職率については、①人間関係、②仕事内容、③勤務条件などの理由が多いということ、①以外は、自己分析や業界・企業研究でミスマッチを防げることが強調されていました。

その後、いわき市内の3つの企業の採用ご担当者様から、企業プレゼンがありました。そしてプレゼンに対する生徒からの質疑応答が行われました。

彼を知り己を知れば百戦あやうからず。これは「孫子」の一節。業界や企業を研究し、自分の強みや弱みを分析すれば、多くのミスマッチを回避できます。逆に言えば、研究や分析なしに就職活動をするのは、とても無謀なこと。この機会を大切にしてください。

福島県には、暮らしに欠かせない身近な製品を作る企業から、国内外に通じる高い技術を持った企業など、様々な分野の企業が存在しています。それを存続し発展させていくのは、皆さんの若い力です！

